

森林のはたらきを評価する —市民による森づくりに向けて—

中村太士・柿澤宏昭編著

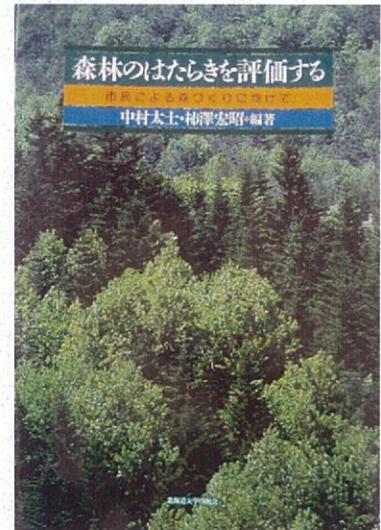
A4判・ソフトカバー・172頁/税込み価格4,200円

北海道大学出版会 〒060-0809 札幌市北区北9西8 北大構内

Tel 011-747-2308, Fax 011-736-8605, <http://www.hup.gr.jp/>

著者紹介と明記してご注文いただければ、税込み価格4,200円のところを、税込み 3,600円(著者割引)+送料実費で入手できます。

(送料) 1冊 160円, 2冊 450円, 3冊 590円, 4冊 600円, 5冊以上 送料はサービスお申し込みは北大出版会・岡村宛 (Email:hupress_1@hup.gr.jp) ご注文下さい。



本書では、北海道が公表した「森林機能評価基準」を使い、森林のはたらきをわかりやすく評価する方法を紹介する。さらに、森林のはたらきを発揮させるために、どんな森づくりを行うべきなのか、そのプロセスについて議論する。北海道白老町で、森林機能評価を活用して行われた協働による新たな森づくりは行政・森林関係者の高い関心を呼ぶものと期待される。

●目次

はじめに

第1章 なぜ、今森林の機能評価なのか

森林管理の展開過程と資源の現状／森林管理をめぐる新しい動き／なぜ森林の機能評価なのか

第2章 森林機能評価をめぐる全国各地の取り組み

森の健康診断市民と研究者の協働による人工林調査の取り組み／千年の森づくり

第3章 北海道の森の機能評価——その考え方と方法

北海道森林機能評価基準ができるまで／機能評価の概要／森林機能評価基準の利用にあたって

第4章 ウヨロ川流域の自然環境とNPO法人ウヨロ環境トラストの活動

ウヨロ川流域の自然環境／ウヨロ環境トラストの活動

第5章 ウヨロ川流域における森のはたらき——森林機能評価基準による評価結果から

水土保全機能の評価／トラストの森の森林機能評価／日本製紙社有林の森林機能評価／萩の里自然公園／

流域全体の二酸化炭素吸収・貯蔵機能の評価結果

第6章 ウヨロ川流域の森林施業

森林施業とは？／天然林と人工林の違い／除間伐の必要性／林分密度管理図／ウヨロ川流域の森林管理／

カラマツ人工林／トドマツ人工林／広葉樹天然林

第7章 地域との協働による森林の評価と今後の指針

評価結果を踏まえた機能の充実／協働の森づくりにむけて／協働の森づくりを考える前に／ワークショップの立ち上げとその目的／ワークショップの実際／残された課題

第8章 子どもたちと森林機能評価

いかに子どもたちに参加してもらうか／ウヨロ川流域の評価結果を使った子どもむけイベント

第9章 まとめと今後の展望

まとめ／成果と課題——白老町で何ができたのか？／今後の展望

第10章 資料

水土保全機能／生活環境保全機能／生態系保全機能／文化創造機能

用語解説／文献／索引

コラム 指定管理者制度の可能性／釧路湿原達古武沼流域における再生事業／森林の機能とその経済評価／萩の里 なんとなくいい山／森と川のつながり／「森林委員会」という試み

●著者紹介(五十音順)

明石 信廣(あかし のぶひろ)

北海道立林業試験場 鳥獣科長／担当：第3章, 第5章, 資料

柿澤 宏昭(かきざわ ひろあき)

北海道大学大学院農学研究院 教授／担当：第1章, 第9章

鎌田 磨人(かまだ まひと)

徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部 教授／担当：第2章

菅野 正人(かんの まさと)

北海道立林業試験場 資源解析科長／担当：第3章, 第5章, 資料

酒井 明香(さかい さやか)

北海道立林業試験場 研究職員／担当：第3章, 第5章, 第8章, 資料

佐藤 弘和(さとう ひろかず)

北海道立林業試験場 研究主任／担当：第3章, 第5章, 資料

濫谷 正人(しぶや まさと)

北海道大学大学院農学研究院 准教授／担当：第6章

庄子 康(しょうじ やすし)

北海道大学大学院農学研究院 准教授／担当：第7章, 第9章

洲崎 燐子(すざき とうこ)

豊田市矢作川研究所 主任研究員／担当：第2章

辻 昌秀(つじ まさひで)

NPO法人ウヨロ環境トラスト 常務理事／担当：第4章

中村 太士(なかむら ふとし)

北海道大学大学院農学研究院 教授／担当：はじめに, 第9章

森本 淳子(もりもと じゅんこ)

北海道大学大学院農学研究院 講師／担当：第5章